

第 65 回建築士会全国大会「しずおか大会」女性委員会セッション

**思いっきりバージョン UP!**

～女性も青年も参加したい「魅力ある建築士会」とは～

日 時 : 令和 5 年 10 月 27 日 (金) 10:00～12:00

会 場 : グランシップ 9 階 910 会議室 / オンライン

**■主 旨**

多様性やジェンダーフリーがあたりまえとなる社会を目指している現在、進行する国内の人口減少と少子高齢化に新型コロナウイルス感染症が追い打ちをかけて、既存のさまざまな会は深刻な会員減少に悩み続けています。例外なく建築士会もそのひとつです。

私たちは 6 月に全国の建築士会女性会員と青年会員に向けて、だれもが参加しやすい、入ってよかったと思える「魅力ある建築士会」にするにはどうすればよいかについて、また 47 都道府県の建築士会事務局の方々に対しては、建築士会の現状について、それぞれアンケートに回答いただきました。

会員増強に決定的な策がないと思われる状況で、各都道府県の現状や活動報告を聞き、情報、意見交換をすることで、建築士会のあり方について、全国的に再考する機会にしたいと考えています。在籍する私たち自身が「思いっきりバージョン UP!」できるような、楽しく、時には熱く語り合える場になればと思います。

**■プログラム**

	総合司会	: 筒井 裕子	(連合会女性委員会 副委員長)
10:00～10:10	開会挨拶	: 本間 恵美	(連合会女性委員会 委員長)
	令和 5 年度 第 32 回全国女性建築士連絡協議会石川大会報告 :		
		本間 恵美	(連合会女性委員会 委員長)
10:10～11:55	報告・パネルディスカッション		
	アンケート結果報告 :		
		石貫 方子	(連合会女性委員会 副委員長)
	コーディネーター :		
		齊藤 裕美	(北海道建築士会)
	パネリスト :	齊藤 裕美	(北海道建築士会)
		鈴木 深雪	(福島県建築士会)
		小貫 弘巳	(茨城県建築士会)
		矢尾 志津江	(石川県建築士会)
		山本 規子	(奈良県建築士会)
		高源 真由美	(徳島県建築士会)
		高橋 由美	(大分県建築士会)
11:55～12:00	閉会挨拶	: 小林 淑子	(連合会女性委員会 副委員長)



アンケート実施概要

アンケート対象：全国の建築士会の女性会員

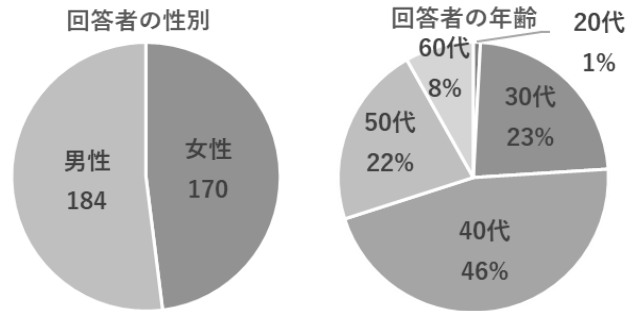
・青年会員・事務局

アンケート期間：令和 5年 6月 5日～19日

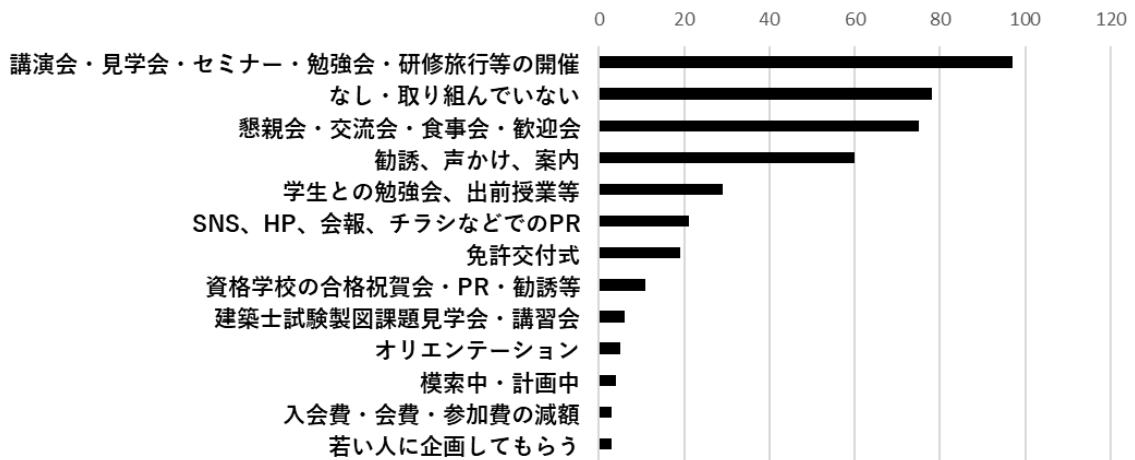
回 答 数 ：女性会員 170人

青年会員 184人

事務局 47士会

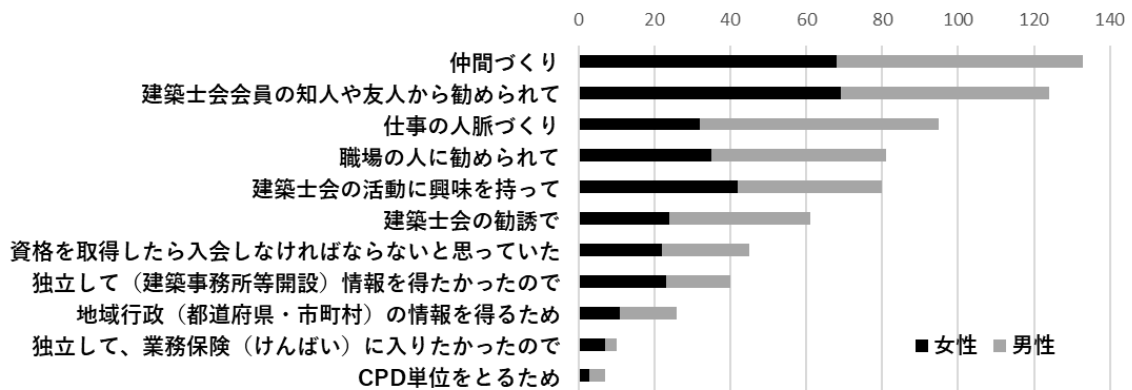


質問5「全国的に女性及び青年会員が少ないですが、女性及び青年会員を増やすために何か特別な取り組みをしていますか？」



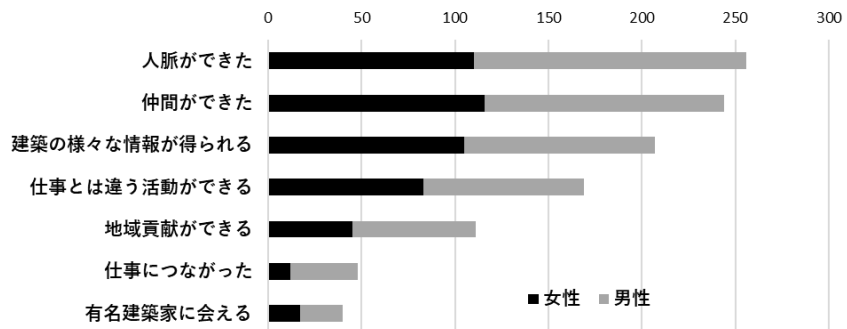
その他の回答：次世代育成プロジェクト、地域実践活動のレポートコンペ、試験合格者も士会の対象に、新入会員情報の共有、休日に免許申請受付、会員増強委員会、家族や子供連れで参加可能、活動に参加、青年・女性の区別をする必要性を感じない、会社訪問、例会の定例化、県内各地域での委員会開催、メンバー全員がサポート、アンケートの実施、楽しい活動を心がける、現会員を大切に、わからない、回答無し

質問6「建築士会入会の理由は何ですか？」



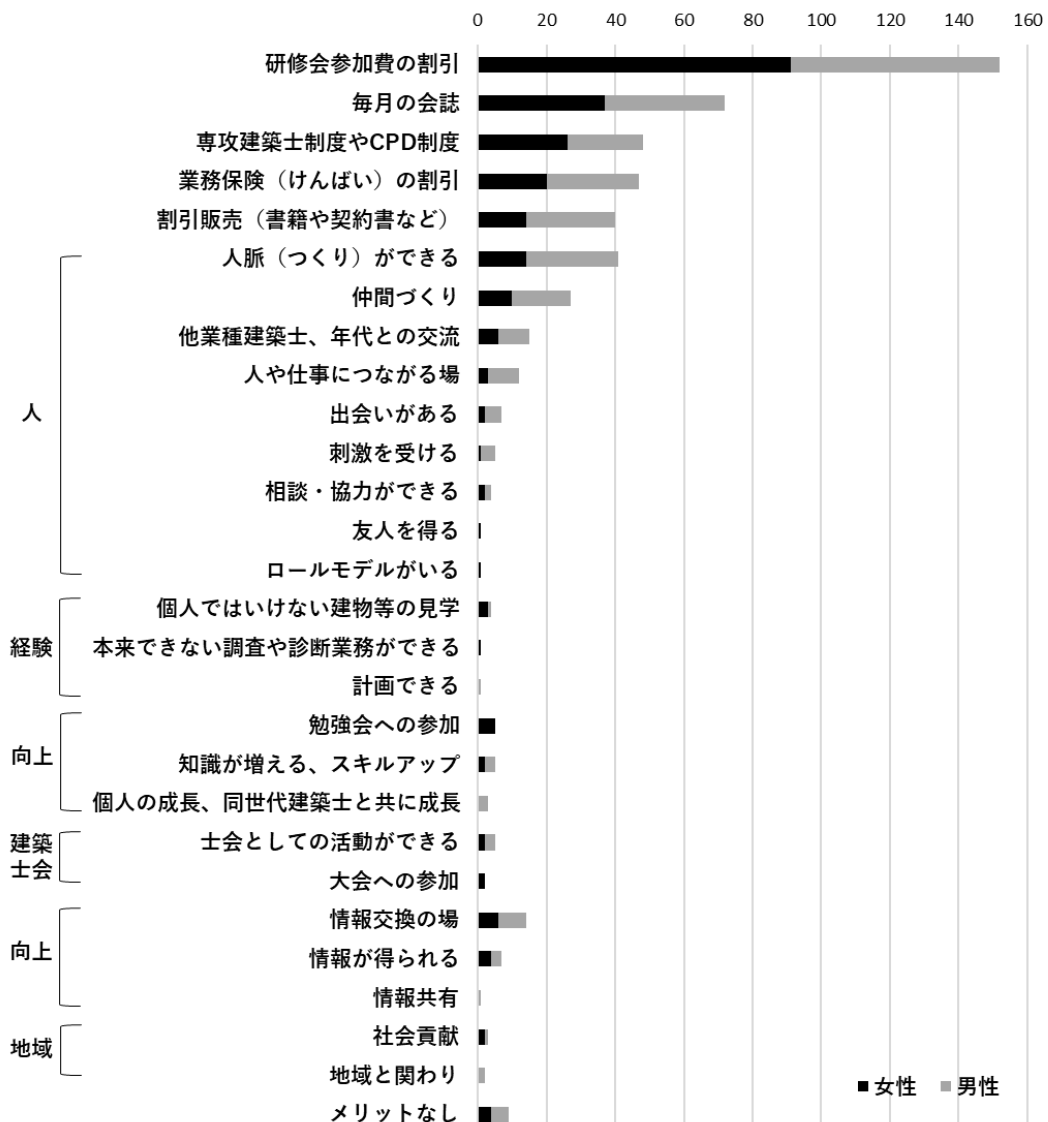
その他の回答：家族（両親、親、祖父等）が入会していたから、情報を得るため、講習会など自己研鑽、委員会活動のため、会社が会費負担して入会、資格学校が会費サポート、なんとなく、会員減少

質問7 「建築士会に入会して良かったことは何ですか？」



その他の回答：建築団体だから可能な建物の見学ができる、伴侶に出会えた、大会後の懇親会が楽しい、士会の社会的信用がある為、個人や会社ではアプローチできない活動がしやすい、色んな経験値が増えた、研修の情報が得られる、いろんな方がいるので自分の人間形成に役立っている

質問8 「建築士会の会員メリットは何だと思いますか？」



質問9 「各大会について感想をお選びください」

全国大会に参加した感想は？

全国大会			女性	男性	20代	30代	40代	50代	60代	合計	割合
ある	期待以上	36	13	23	0	9	17	6	4	36	10.2%
	期待通り	87	38	49	0	17	43	17	10	87	24.6%
	普通	92	51	41	0	12	40	<b>29</b>	<b>11</b>	92	26.0%
	あまり良くなかった	2	1	1	0	0	2	0	0	2	1.5%
参加したことが無い		<b>137</b>	<b>67</b>	<b>70</b>	<b>3</b>	<b>44</b>	<b>61</b>	25	4	<b>137</b>	<b>38.7%</b>
合計		354	170	184	3	82	163	77	29	354	

全国女性建築士連絡協議会に参加した感想は？

全国女性建築士連絡協議会		全体	女性	男性	20代女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代女性	合計	割合
ある	期待以上	42	35	7	0	1	12	14	8	35	20.6%
	期待通り	77	<b>64</b>	12	0	5	22	<b>24</b>	<b>14</b>	<b>65</b>	<b>38.2%</b>
	普通	34	24	10	0	1	6	12	5	24	14.1%
	あまり良くなかった	2	2	0	0	0	1	0	1	2	1.2%
参加したことが無い		<b>197</b>	44	<b>153</b>	0	<b>7</b>	<b>25</b>	11	1	44	25.9%
不明		2	0	2	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計		354	169	184	0	14	66	61	29	170	

青年フォーラムに参加した感想は？

青年フォーラム		全体	女性	男性	20代男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代男性	合計	割合
ある	期待以上	20	3	17	0	5	11	1	0	17	9.2%
	期待通り	47	13	34	0	13	19	2	0	34	18.5%
	普通	47	13	34	0	11	18	5	0	34	18.5%
	あまり良くなかった	3	0	3	0	0	3	0	0	3	1.6%
参加したことが無い		<b>235</b>	<b>140</b>	<b>95</b>	<b>3</b>	<b>39</b>	<b>45</b>	<b>8</b>	0	95	<b>51.6%</b>
不明		2	1	1	0	0	1	0	0	1	0.5%
合計		354	170	184	3	68	97	16	0	184	

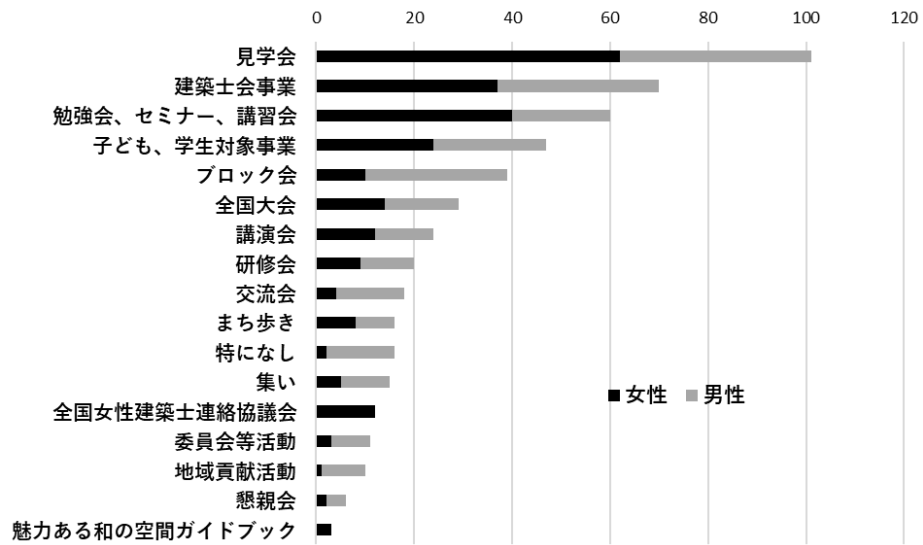
ブロック青年大会に参加した感想は？

ブロック青年大会		全体	女性	男性	20代男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代男性	合計	割合
ある	期待以上	55	20	35	1	10	22	2	0	35	19.0%
	期待通り	107	35	<b>72</b>	0	<b>30</b>	<b>36</b>	<b>6</b>	0	<b>72</b>	<b>39.1%</b>
	普通	58	20	38	0	14	21	3	0	38	20.7%
	あまり良くなかった	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0.5%
参加したことが無い		<b>130</b>	<b>93</b>	37	<b>2</b>	12	18	5	0	37	20.1%
不明		3	2	1	0	1	0	0	0	1	0.5%
合計		354	170	184	3	68	97	16	0	184	

ブロック女性大会に参加した感想は？

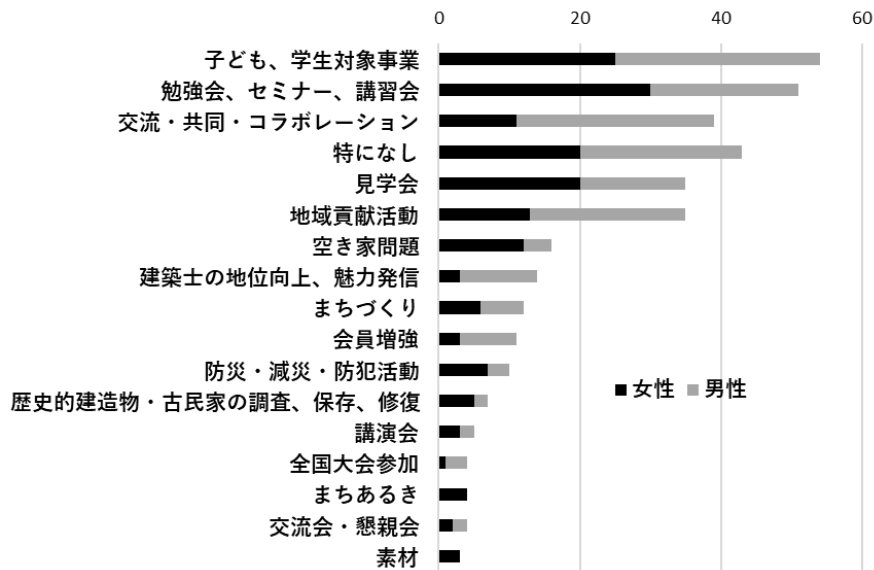
ブロック女性大会		全体	女性	男性	20代女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代女性	合計	割合
ある	期待以上	26	20	6	0	1	8	7	4	20	11.7%
	期待通り	67	54	13	0	3	16	<b>21</b>	<b>14</b>	54	31.6%
	普通	32	23	9	0	1	5	12	5	23	13.5%
	あまり良くなかった	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0%
参加したことが無い		<b>225</b>	<b>72</b>	<b>153</b>	0	<b>9</b>	<b>36</b>	<b>21</b>	6	<b>72</b>	<b>42.1%</b>
不明		3	1	2	0	0	1	0	0	1	0.6%
合計		354	170	184	0	14	66	61	29	170	

質問10 「建築士会事業で楽しかった企画や興味を持った企画は？」



その他の回答：一級建築士設計製図試験、建築士会の職能

質問11 「これから取り組んでみたい活動がありましたらお書きください」

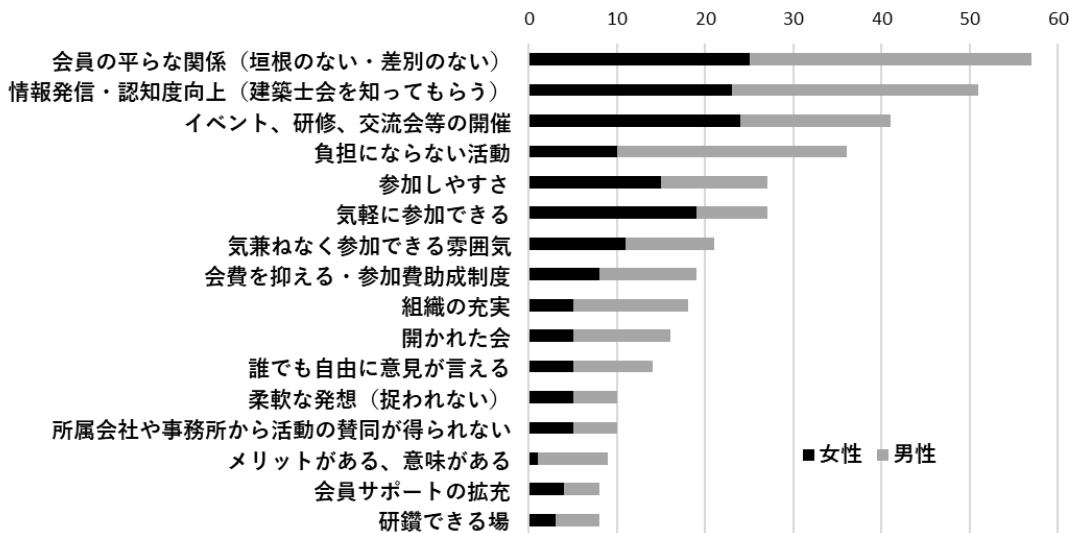


**その他の回答 (女性)：**子育て世帯、高齢者が住みやすい地域にする為の問題点と改善点の洗い出し、役員の若返り、若手の応援、子育てが一段落した今これから結婚子育てに進む若い女性建築士に仕事を諦めない情報交換の場を提供したり、アドバイスをしたりしたい、女性建築家の先達の仕事を知る、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、インクルーシブデザインと、誰もが使いやすい、住みやすいとされるモノや住まい、またその仕組みづくり、環境づくりについて、掘り下げてみたい、親睦が深まる楽しい企画、現場女子のよろず相談会、若い建築士との世代を繋ぐ活動、ブログ写真、ドローン撮影、全国の女性会員の方々とお知り合いになりたい、変化するこれからの住宅供給に関連する事、全建女に男性も参加してもらおう事、各地域の建築事情、風習の違い、生活環境(気候)などの特色や違い、モバイルスタンプラリー、人のつながりが生まれるような活動、個人のスキルがアップするような活動(企画力、プレゼン力、デザイン力)、高齢者の住宅リ

フォーム相談、子ども環境づくりのワークショップ、士会会員が自分の仕事を語る会、住まいの終活、会員相互の情報共有をもっと行いたい、職業講話、県産材を利用した住宅建築の推進

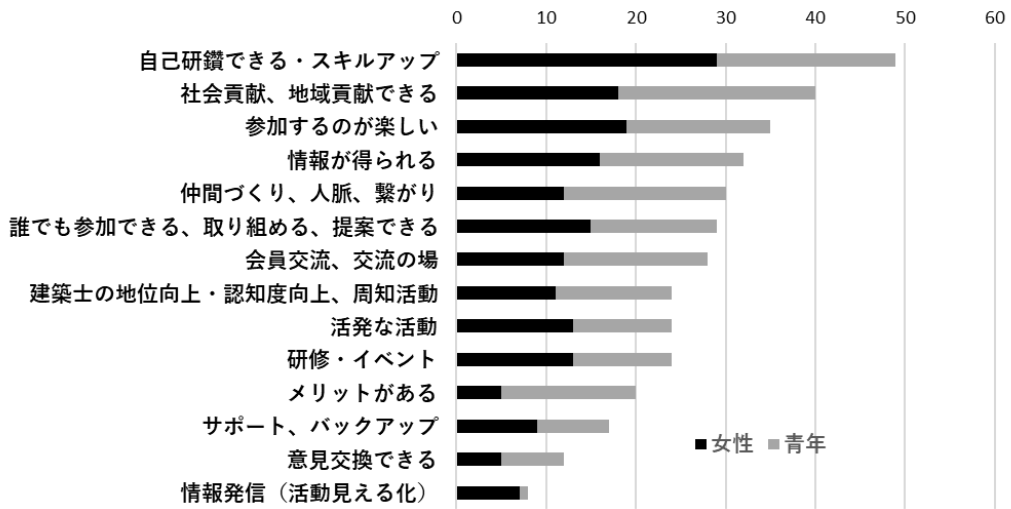
**その他の回答（男性）：**青年活動の継続、キャンプ、お泊り会、いまさら聞けない仕事の疑問を解決する集まり、建築士だから出来る地域実践活動を充実、講習会等の割引、地域の魅力を活かした活動、新技術など建築士の育成にかかわる活動、会員結びつきの強化、青年委員会のメンバーが望む活動、支部活動の活性化、県青年委員がだれでも交流でき、県青年委員が楽しく自己研鑽をしつつ、新潟県の建築士会の活性化に繋がりを、県青年が各地域で率先してリーダーとなれる自覚を持つための活動、継続的かつ収益を上げられる事業の開発、エネルギー問題について、建築士試験を受験予定の人たちへの手助け、組織としてより強いものにするような活動、既存の建築（貴重、民家問わず）の利活用や継承、または建物仕舞いするかという活動を行なってみたい、会員サービスの充実化、女性建築士の活動、仕事に活かせるアプリの情報交換、青年以外の委員会等の活動、住宅建築のコンクール、仕事の人脈を作れるような事業や活動、動画サイトを使った設計や建築に関わる情報配信、壮年部を株式会社にする、積極的に外に向けてワークショップ、模型作り、熊本県建築士会館の再生、耐震技術やBMI活用などの新しい技術に関する活動、省エネの基準が厳しくなるなか、意匠事務所でも住宅規模なら申請できるスキルを提供できないか、シンポジウム的なイベント

質問12 「あなたが考える「誰もが参加しやすい建築士会」とはどのような建築士会ですか？」



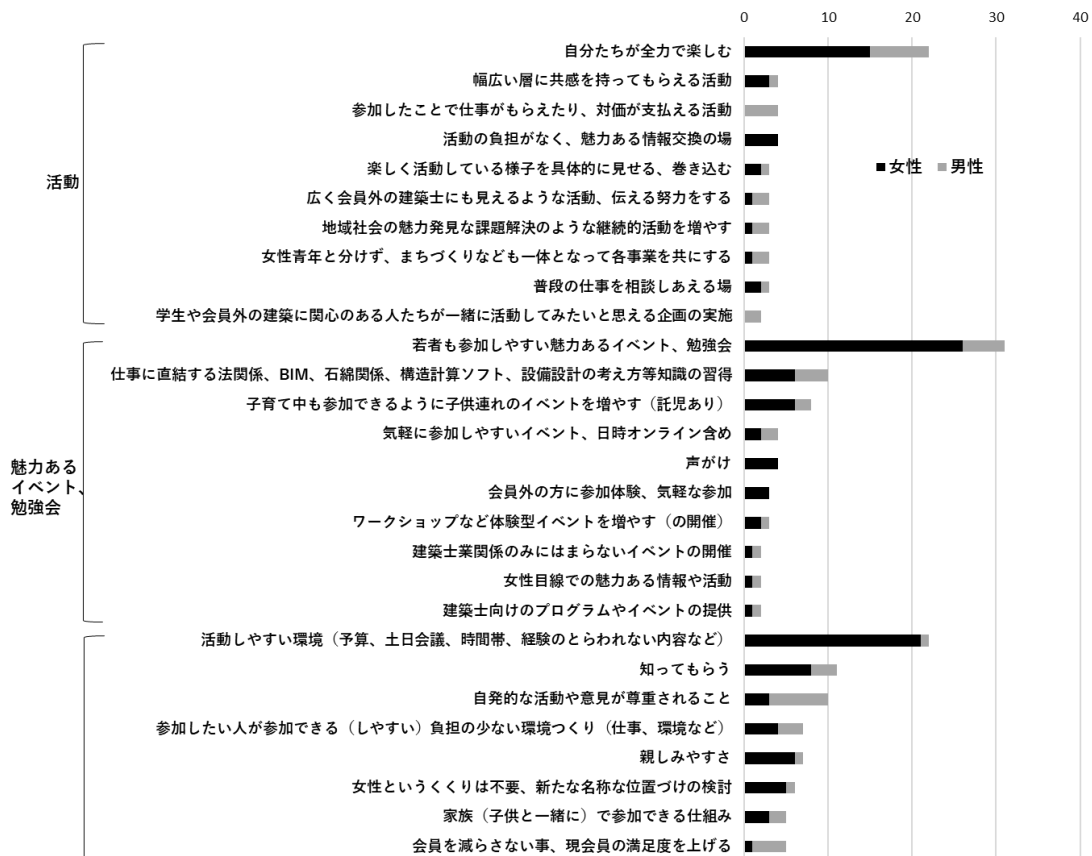
**その他の回答：**仲間づくりができる(6)、参加するのが楽しい(6)、居場所となる(3)、若い人が多い(2)、建築士資格取得と同時に入会のシステム(2)、建築士としての矜持を持ちながら、社会とのかかわりを持って進んでいることが見える化できている建築士会、建築士の資格者である会員を守る建築士会になれば会員は増える、士会に限らず何においても個人の意識次第であると考え、わからない、回答無し

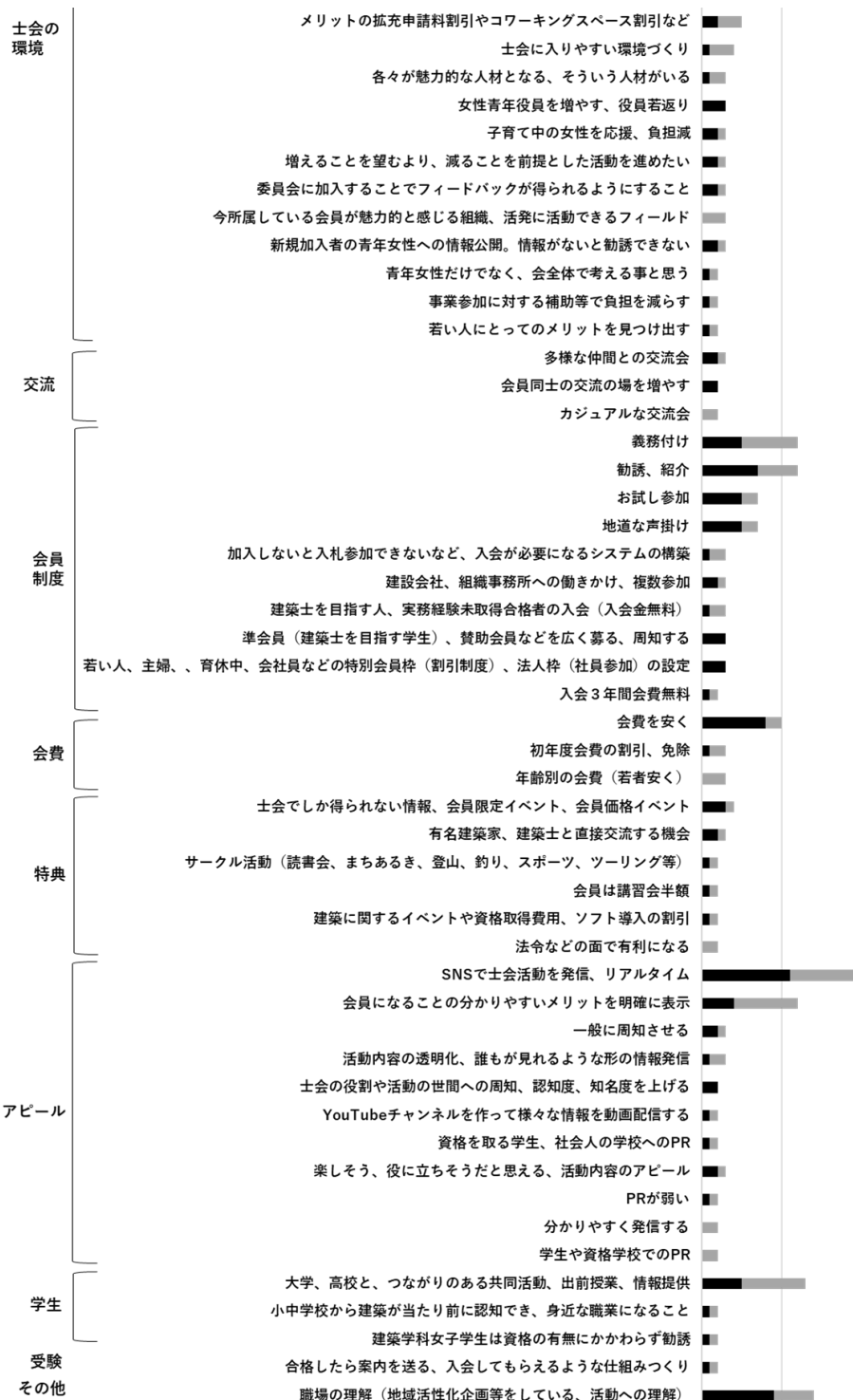
質問13 「あなたが考える「魅力ある建築士会」とはどのような建築士会ですか？」



**その他の回答：** 仕事に役立つ(5)、魅力ある会員がいる(4)、活動の負担が少ない(4)、若手が活動できる(3)、自主的、積極的に活動している(3)、社会に提言できる建築士会(2)、建築士の為になる、建築士の専門性に特化しつつも、幅広い見識を有する方々の集団、業種関係や立場などに関係なくお互いリスペクトできる会、建築士の枠に縛られ過ぎず、自由な発想ができ実現できる会、各職能を生かした建築士としての活動ができ、建築士として矜持の持てる建築士会、わからない、回答無し

質問14 「どのようにしたら女性青年の会員が増えると思いますか？」





**その他の回答：**学生教師など準会員になってもらい準会員の活動参加の機会を増やす、働き方改革を実践し成功している人のノウハウを紹介する、女性委員会主催の研修会に参加を呼びかけ活動の広報と周知をする、建築の仕事伝える機会をつくり建築ファンと一緒に活動する場の創出、平日日中の活動はしない、すでに入会している女性との交流会、支部や都道府県の枠を超えて活動、企業・教育機関との共同企画、ファシリテ育成、学ぶ・遊ぶ・地域貢献する建築士会、起業や独立した人考えている人向けの相談会座談会の開催、専門家の講



演、メンターシップやアドバイザープログラムの設立、建築教育機関との連携強化による建築士育成支援、趣味的な活動を含め興味を引きそうな様々な活動を行い興味を持ってもらう、土日の短時間で参加できるイベント、全国女性青年建築士交流イベントをメインに活動、初心者向け講座、普段は入れない施設見学、定期的な交流会、海外視察企画、若い世代に人気の有名建築家の講演や食事会、希望者以外は入会后数年間は役職なし、研修のアーカイブ化、古くからの慣習を見直し開かれた会にする、講習会等の割引で勧誘、入会の恩恵は「〇〇だ」と会全員でコンセンサスが取れるように色々な試みが試せること、幅広い教養が深められる場になればよい、大会へ参加（懇親会まで）してもらう。楽しいし人脈も得られる、やる気のある人たちのつながりを会として継続していける仕組みづくり、魅力ある活動へのアプローチを組合わせて女性青年の関心を引き付け活動等への参加を促す、情報の周知、委員会等の日程調整やオンライン会議の活用、委員会の社会的貢献活動の意義の見える化、ボランティア活動だけでなく自分や会社にメリットになるものが必要、強制参加、減少した会員でどのように活動すればいいか再考必要、青年等に対する親会からの扱いの改善・若手に手厚い予算配分、青年委員長クラスも理事にすべき、強いリーダーシップのある先輩、役職なく自由参加、組織の世代交代、青年女性親会がもっとコミュニケーションをとる、新規会員への積極的アプローチ、何を提供できるか改めて考える、鹿児島県女性部会大改正、建築士を目指す若者とのふれあいの場コミュニケーションが必要、気軽に立ち寄れる場、問題点を共に考えてくれる場、免許の授与式+懇親会、資格学校との連携、女性が多いハウスメーカーの方の参加メリットを探り勧誘、学生・教師など安価な会費で準会員に、試験合格者の会員化、建築に興味がある人たちまで門戸を広げる、建築士初年度は準会員として行事等に参加しやすくする、活動参加で会費割引、若手会員への会費補助、子ども会員（子供向け工作・絵画教室・工場見学等を開催し将来の正会員候補）、会員向けの情報誌が読みやすくなる情報に掲載されている、大学・専門学校と連携し若い世代と交流を深め求められているものを把握する、入会金を安く、女性会員の会費を優遇する、会費3000円、10000円で気軽に入れる、女性の子育て期間への配慮（会費の産休制度）、仕事や家庭の事情で参加が困難な時期の会費軽減、入会金ゼロ3年目まで半額、学生準会員は学割で無料資格を取ったら本会員、法的や金銭的な優遇措置、会費をなくすなどの対応、会費の払いやすい金額設定、興味を引くタレントの起用やタイアップ、建築会社社長クラスに社員が士会会員になることのメリットを啓蒙する、職場でPR、適切な広報、CMの作成、活動内容のフライヤーやWEBページなど丁寧に作成する、現会員の楽しそうな活動の様子を発信する、行政や民間団体と連携したイベントによるより広範囲へのPR活動、LINEの活用、情報へのアクセスのしやすさ、会員外の方職場で知り合った関連業者への積極的案内、ターゲットを絞った情報発信、社会に役立ち一般の人にも認知される活動が伝わるようなアピール、経験値の高い委員との交流が得られるメリットをアピール、仕事のキャリアやスキルアップにつながる活動をしていることをアピール、青年女性主催の催し物を増やしてアピール、けんばい・こうばいなど保険事業の分かりやすいPR、入会しないと取得できない資格、認知度が高く社会的に影響のある会、入会しないと取得できなができない、免許取得の際に優遇措置を設けるなどの職場労働環境の改善、入会者の数が仕事の点数になる、会員同士認め合えることが大事、残業等の無い労働環境によりライフワークが充実できる業界になること、個人や少人数で会社を運営している方にスポットを当てる、入りたい事業・入りたい目標、複数ある建築系団体を一つにまとめる、家族の理解、建設業従事者増のための業界の報酬・業務実態の改善により士会会員増も見込める、受験者向けのメリットを打ち出す、SNS等を活用し建築士になる前からアプローチ、試験対策の復活、仕事につながる、業務上の不安を相談できる、ベテランの方に出会え学べる、企画参加時の交通費等の支給、建築家や行政との懇談会参加、まちづくりなど行政への参加機会、他業種会員との交流、CPDの周知

質問15 「建築士会に対してほかに何かありましたらご自由にご記入ください」

士会の魅力	スキルアップの場(2)、建築士として尊敬されるような活動の周知、個人の魅力が士会の魅力、人脈、魅力ある活動をしやすい場をつくる、地域の特色や違いが判る全国大会やブロック大会への参加、産地や工場などモノづくりをみたり聞いたり体験できる機会が多く持てる会、分からない事を質問できるコーナーがあれば便利、委員会活動が有意義、タイムリーなセッションテーマにした方がいい、ランチ会の開催をする
士会として	若手へのフォロー体制など改善等の機会が必要(3)、会員が減少しても成り立つ会（スマートな運営）の検討(2)、ボランティアとしての活動は慎重にする、仕事や家庭の負担にならないバランスを取った内容は必須、二級建築士も入りやすいように、青年事業の派手化拡張化が負担に見える、活動してない会員への参加声がけ、会員が活動しやすい環境整備、役職の負担大きい、子供も参加できる士会、経費適用幅の拡大。役員は自腹が増える、カジュアルな運営、他団体との協力（町内会・子供会・PTA など）、活動に参加する会員が少ない、メリットを具体的に発信する仕組みの検討、公共事業を行うことで赤字会員減で赤字、女性青年にとらわれず委員会や支部に賛同できる活動を一緒に出来る体制づくり、敷居を低く、若い女性世代に興味を持たれるような活動を盛り込み、若者へアプローチする、10年後を見据えて建築士に必要とされる士会への変革、組織構成がわからない（説明不足）、若いというだけで仕事を振るのではなく全員で手を動かすべき、現会員の満足ややる気を上げるように、古い体制からの脱却魅力の発信、講習会費を安く
交流	他ブロックとの気軽な交流(3)、人や仕事のつながり全国の建築士との交流(2)、建築とは縁のない人の交流(2)、個人では繋がれない人との交流の場、仲間ができる、他団体との交流イベント、他業種建築士との交流
入会	所属しないと仕事（設計）できない（差支える）組織に(4)、義務付け(2)、入会時の女性青年委員会への所属の説明が欲しい、何かで釣って入会してもらおう
会員制度	全国的な学生会員などの制度
連合会	今後の士会としての在り方について再度検討要(2)、社会的に影響力を持てる会（医師会のように）(2)、災害時にもっとできることがあるのでは、士会活動の業界団体への周知、建築士の地位向上への取組んでほしい、会員になることがステータスとなる仕事やキャリア拡大になる組織、会員増強の予算と政策を導入すべき
連合会など 会誌	ペーパーレス化（WEB）(2)、減らした分各地域士会が使えるように発刊数の検討、アーカイブ掲載により一般の方に活動を知ってもらえる、若い人たちにも興味を持てるように工夫する
学生	学生を巻き込んだセミナー学生の視野が広がるような説明会の開催、小学生への職業紹介や課外授業の開催、建築を学ぶ学生に全建女全国大会への参加呼びかけ
会費	大会派遣費の助成、会費増は若者の入会減、会誌のWEB配布の選択により会費安く、安くなるとありがたい、リターンに見合った会費設定、安くなるような制度やポイントを導入、若い人が入りやすい金額設定
広報	適切な広報、各士会別々のSNSアカウントをまとめる（他地域の情報収集、情報交換、告知等事務作業の減）
その他	女性委員会への男性会員の委員としての参加、CPD制度の改革または廃止、各都道府県士会の意見をしっかりと吸い上げ迅速に対応できる士会になってほしい、製図試験の採点基準等があいまい。はっきりわかる基準となるように活動してほしい、国交省発行バッジ（弁護士のような）

しずおか大会セッションアンケート (事務局)

都道府県名	会員数について							
	会員数 令和4年度末	会員数 平成24年度末 (10年前)	会員数 平成14年度末 (20年前)	会員数が一番多かった 年度と会員数		女性会員数 令和4年度末	青年委員 対象会員数 令和4年度末	青年委員の 年齢範囲
1.北海道	3,621	4,628	6,977	昭和60年度	9,313	256	特に定めなし	特に定めなし
2.青森	987	1,178	1,620	昭和57年	2,139	69	236	45歳まで
3.岩手	1,221	1,620	2,222	不明	3,000以上	不明	不明	各支部判断
4.宮城	743	1,178	2,025	昭和52年度	4,615	91	*	45歳まで
5.秋田	954	1,260	1,920	昭和58年	2,846	62	23	概ね40歳
6.山形	863	1,147	1,468	平成10年	1,536	79	80	45歳まで
7.福島	1,571	2,156	3,415	平成8年	3,721	76	54	45歳まで
8.茨城	1,787	2,442	2,902	平成5年度	3,274	153	212	45歳まで
9.栃木	1,174	1,502	1,773	昭和50年頃	2,500	83	151	45歳まで
10.群馬	1,261	1,711	2,735	昭和58年度	3,500	131	123	45歳まで
11.埼玉	1,272	1,735	2,335	平成5年	2,600	86	31	40歳まで
12.千葉	1,588	2,033	2,918	平成8年度	3,430	159	180	45歳まで
13.東京	5,332	6,771	8,347	平成14年	8,347	666	259	40歳まで
14.神奈川	2,265	3,148	3,538	平成8年度	4107	306	235	45歳まで
15.山梨	1,011	1,183	1,528	平成10年度	1,553	85	122	45歳まで
16.長野	2,142	3,009	4,213	昭和58年度	4,919	179	493	概ね50歳まで
17.新潟	1,800	2,493	3,439	平成7年度	4,313	124	不明	概ね40歳まで
18.静岡	980	1,523	不明	不明	1,523	65	70	45歳まで
19.愛知	3,258	4,419	6,294	昭和59年	8,094	278	343	45歳まで
20.岐阜	951	1,444	1,824	平成10年末	1,937	80	27	自分が青年と 思う人
21.三重	723	1,054	1,488	平成14年度	1,488	62	91	45歳まで
22.富山	1,294	2,046	2,588	昭和60年度	2,978	165	230	45歳まで
23.石川	1,194	1,476	2,283	平成8年	2,307	134	126	40歳まで
24.福井	907	1,152	1,603	平成2年度末	1,920	85	126	45歳まで
25.滋賀	775	1,131	1,445	昭和59年	1,896	63	96	40歳まで
26.京都	1,198	1,690	2,156	平成9年度	2,534	134	160	45歳まで
27.大阪	2,297	3,072	5,447	平成6年	7,661	230	387	45歳まで
28.兵庫	1,380	1,922	3,053	昭和55年度	3,543	115	70	支部による 50歳程度まで
29.奈良	689	1,076	1,379	昭和59年	1,761	65	51	40歳まで
30.和歌山	1,235	1,292	1,419	平成4年度	1,511	30	34	40歳まで
31.鳥取	984	1,066	1,552	昭和60年	1,931	65	157	45歳まで
32.島根	1368 (含補助会員)	1568 (含補助会員)	1897 (含補助会員)	平成12年度	2012	116	203	45歳まで
33.岡山	1,308	1,583	2,075	昭和50年頃	4,050	158	149	40歳まで
34.広島	1,637	1,989	2,820	昭和55年	3,578	142	463	50歳まで
35.山口	1,509	2,250	2,922	平成7年度末	3,481	114	184	45歳まで
36.徳島	975	1,142	1,856	不明	不明	100	不明	45歳まで
37.香川	1,310	1,570	1,928	昭和55年	2,650	140	267	45歳まで
38.愛媛	1,468	1,604	2,378	平成8年	2,692	123	223	45歳まで
39.高知	898	1,242	1,451	平成12年	1,618	108	280	45歳まで
40.福岡	1,931	2,232	3,000	昭和55年度	4,215	178	363	50歳まで
41.佐賀	813	977	1,231	平成11年	1,343	84	803	年齢規定無し
42.長崎	998	1,205	1,738	昭和55年	2,477	68	0	定めていない
43.熊本	1,284	1,568	2,195	平成4年度	2,539	133	213	40歳まで
44.大分	1,051	1,215	1,848	不明	不明	89	226	45歳まで
45.宮崎	940	1,345	1,815	昭和63年度頃	2,345	66	不明	支部により異なる
46.鹿児島	1,848	2,226	2,776	平成14年	2,776	129	251	45歳まで
47.沖縄	1,014	972	1,182	平成5年度	1,294	115	186	45歳まで

都道府県名	会員の種別、会費（親会費）、入会金								
	正会員会費 （親会費）	正会員 入会金	準会員会費 （親会費）	準会員 入会金	賛助会員会費 （親会費）	賛助会員 入会金	その他 会員種別	支部会費	支部会費の金額
1.北海道	15,000	0	12,000	0	15,000～	0	なし	ある	0～3,000
2.青森	11,000	1,000	11,000	1,000	14,000	1,000	なし	ある	3,000～5,000
3.岩手	16000 (盛岡支部)	1,000	なし	なし	20,000	なし	なし	ない	—
4.宮城	24,000	2,000	3,600	1,000	30,000～	0	家族会員 事業所会員	ある	0～10,800
5.秋田	15,000	3,000	15,000	3,000	15,000	3000	なし	ない	—
6.山形	9,000	2,000	5,000	0	20,000	2000	なし	ある	4,000～6,000
7.福島	7,000	1,000	0	0	10,000	0	同一世帯会員	ある	8,000～20,000
8.茨城	12,000	2,000	10,800	1,500	30,000	10,000	終身会員	ある	12,000
9.栃木	20,000	1,000	10,000	1,000	20,000	0	なし	ない	—
10.群馬	13,200	1,000	9,240	500	個人2,000 団体・企業10,000	0	0	ある	800～6,800
11.埼玉	12,000	2,000	6,000	2,000	20000	0	今後はなし	ある	3,000～10,000
12.千葉	15,300	2,000	15,300	2,000	20,000	0	名誉会員 特別会員	ある	5,700～8,700
13.東京	18,000	3,000	9,600	3,000	24,000	0	なし	ある	0～6,000
14.神奈川	20,000	2,000	15,000	1,000	1口 30,000	1	特別会員	ない	—
15.山梨	15,000	2,000	9,000	2,000	12,000	0	なし	ある	2,000～3,000
16.長野	24,000	2,000	14,400	2,000	20,000～	2,000	なし	ない	—
17.新潟	14,400	2,000	14,400	0	14,400	0	なし	ある	5,600～15,600
18.静岡	30,000	10,000	なし	なし	40,000	10000	なし	ない	—
19.愛知	18,000	4,000	14,400	3,000	30,000	0	特別準会員、ファミ リー会員、一般会員	ない	—
20.岐阜	18,000	3,000	9,000	3,000	30,000	0	名誉会員 同居家族会員	ない	—
21.三重	20,000	3,000	19,000	3,000	10,000～	0	家族正会員、家族準 会員、名誉会員	ない	—
22.富山	12,000	2,500	7,800	2,500	12,000～	なし	家族会員	ない	—
23.石川	12,600	3,000	9,600	3,000	任意	なし	名誉会員	ある	1,400～7,400
24.福井	13,800	2,000	2,000	0	5000	0	なし	ある	0～4,200
25.滋賀	18,000	2,000	15,000	2,000	20,000	なし	家族会員	ある	3,000～9,000
26.京都	18,000	2,000	15,600	1,500	36,000	0	なし	ある	0～6,000
27.大阪	19,800	4,000	14,400	4,000	30,000	0	特別準会員	ない	—
28.兵庫	16,800	3,000	16,800	0	30,000～	0	家族会員	ある	4,800
29.奈良	18,600	3,000	12,000	1,500	20,000～	なし	なし	ある	支部により異なる
30.和歌山	12,000	1,000	11,400	1,000	20,000～ 12,000～	なし	技士会員	ある	0～4,200
31.鳥取	12,000	0	10,000	0	60,000	0	資格会員、ファミ リー会員、永年会員	ある	5,000～
32.島根	10,200	2,000	10,200	2,000	10,000	なし	なし	ある	0～5,000
33.岡山	12,000	3,000	12,000	3,000	20,000	0	家族割 グループ会員	ある	0～5,000
34.広島	12,000	3,000	12,000	3,000	30,000	0	なし	ない	—
35.山口	15,000	0	12,000	0	15,000	0		ある	0～3,000
36.徳島	8,000	3,000	8,000	3,000	20,000	0	なし	ある	6,000～10,000
37.香川	18,000	5,000	15,000	5,000	20,000	0	学生（準会員）	ない	—
38.愛媛	18,000	2,000	12,000	2,000	10,000	0	なし	ない	—
39.高知	1,200	3,000	9,600	3,000	10,000	0	名誉会員	ある	0～1,500
40.福岡	16,200	1,000	15,550	特になし	30,000	なし	なし	ない	—
41.佐賀	月額 1,200	3,000	月額 800	3,000	10,000～	なし	なし	ある	2,400～3,600
42.長崎	1,300	1,000	900	1,000	10,000	0	なし	ある	0～400
43.熊本	14,400	3,000	6,000	3,000	20,000 2,500～	0	特別会員	ある	600～5,600
44.大分	9,600	1,000	9,600	1,000	15,000	0	なし	ある	4,800～14,400
45.宮崎	14,000	2,000	14,000	2,000	10,000	0	特別会員	ある	0～11,000
46.鹿児島	12,600	1,000	11,400	1,000	13,000	0	夫婦会員	ある	1,400～4,400
47.沖縄	16,800	4,000	8,400	4,000	20000～	0	なし	ない	—